



レンズ AF-S DXズームニッコールED12〜24ミリF4G (IF) (換算33ミリ) モード 絞り優先AE (F8) +/- なし WB 晴天 感度 ISO100 機材 三脚使用 撮影地 長野県小海町ハヶ岳山麓 11月中旬

シルエットを活かして 夜明けの空を狙う

樹形の美しさが際立つカラマツ林。夜明け前の藍色の空を背景にして、シルエットとしてとらえた。葉をすっかり落としたカラマツからは冬に向かう寂しさを感じられる。この雰囲気は真っ赤な朝焼けでは決して表現できない。イメージに合わせた光を選ぶことは自然風景の撮影では大切である。

紫に染まる瞬間を狙う

槍ヶ岳を湖面に映す鏡池。夜明けの空が紫色に染まる瞬間を狙ってシャッターを切った。東側に高い山がある場合、日の出頃には空に色付きはすでなく、太陽光もまぶしいくらいだ。むしろ空全体が淡く色付く、夜明け前の時間帯がフォトジェニックである。柔らかな光によりシャドー部のディテールをうっすらと浮かび上がらせることができた。

レンズ AF-S DXズームニッコールED18〜70ミリF3.5〜4.5G (IF) (換算40.5ミリ) モード 絞り優先AE (F8) +/- -1EV WB 晴天 感度 ISO100 機材 三脚使用 撮影地 岐阜県北アルプス鏡平 8月上旬



レンズ AF-S VRズームニッコールED70〜200ミリF2.8G (換算142.5ミリ) モード 絞り優先 AE (F11) +/- +2/3EV WB 晴天 感度 ISO200 機材 三脚使用 撮影地 岐阜県白川村 1月中旬

長時間露光で 合掌造り集落の灯りを撮る

夜の帳が降り、集落到灯が点った白川郷。空の青さを映して雪面が青白く染まり、冬の厳しい寒さを感じられる。集落の明かりはもちろん、自動車のヘッドライトの光跡を活かすために15秒の長時間露光で撮影した。氷点下での長時間露光が続くとバッテリーの消耗が激しい。必ず予備電池を用意して撮影に臨みたい。

薄明

Twilight

日の出前や日没後、風景は色を失い、柔らかな光に包まれる。それまでのダイナミックな赤色から、青を基調とする色へと変化してゆくのだ。藍色に染まった空色は美しく、月や金星などを絡めると暮れゆく（または明けゆく）雰囲気が増してくる。

灯が点った街明かりを狙うと空に青み残り、やさしい雰囲気の夜を演出できる。太陽が見えるときには表現できない柔らかな階調美が魅力だ。ただし低照度での撮影ゆえ、露出とフレミングには注意したい。うっすらと明るさが残っていれば露出計は働くが、モニターでの露出確認も忘れないようにしたい。手元が暗い状況ではモニターを暗めに調整し、ヒストグラムを併用しよう。

被写体をファインダーで視認しづらい場合は、高感度で試し撮りすると正確に構図を確認できる。同時に仕上りの雰囲気もつかめるだろう。現場で画像を確認できるデジタルのメリットを最大限に活用したい。